

Small CoRE Project 活動中間報告

小児病棟入院親子のための遠隔音楽療法プロジェクト 茶原 雅史

○活動内容

A 病院の小児病棟に入院されているお子さんとその保護者に対して遠隔音楽療法を実施しております。

○実施方法

音楽療法はビデオ通話アプリ Zoom を用いて行われ、2 か月に 1 回、約 30 分程度で提供しています。実施の手続きは以下の通りです。

- ①音楽療法に参加するお子さんと日程の決定
- ②事前の情報収集及びプログラムの作成
- ③楽器及びタブレット端末の貸し出し
- ④遠隔音楽療法の実施
- ⑤事後アンケート

遠隔音楽療法の実施の際には、病棟保育士や鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学専攻に在籍する学生にも補助スタッフとしてご協力いただきました。

○進捗報告

現時点で、A 病院に入院されている子どもを対象とした音楽療法を 8 月に 1 回、10 月に 2 回実施いたしました。

第 1 回目では、お子さんが楽器を通して楽しく活動に参加する様子が見られましたが、通信状況の不具合で一時中断する状況となり、活動量の臨機応変の変更も行えず、お子さんの疲れにも影響していたことが考えられました。これらのことから、第 2 回目以降は、事前に通信状況の確認を病院スタッフ(広報・企画戦略センター)の方に行っていただき、お子さんの様子に合わせた時間の調整に努めるように工夫することといたしました。

第 2,3 回目では、通信状況は問題なく実施することができ、お子さんの疲れなどは見られなかった印象です。最初は、お子さんは緊張されていることが多いですが、徐々に笑顔や自発的にスタッフに話しかけるといった様子も見られています。

3 回まで実施して見えてきた課題点としては、事前にお子さんの情報についてももう少し共有し活動に反映したほうがよいのではないかとことです。病棟保育士の方にもご協力いただいておりますので、お子さんのコミュニケーションの取り方や、得意なこと、苦手なこと、保育士の視点から見た関わり方に関するご意見などを共有して、よりお子さんに合わせた活動につなげていく必要があると考えています。